

令和7年度 愛知教育大学附属高等学校

第43回 高校教育シンポジウム

研究主題

人生を切り拓く探究力 ―各教科の取り組みについて―

(1年次)

【期 日】 令和7年11月12日(水) 【会 場】 愛知教育大学附属高等学校

【主 催】 愛知教育大学附属高等学校 【後 援】 愛知県教育委員会

【日 程】

12:30	13:00	13:30	13:40	14:30	14:50	16:30
シンポジウム 受 付	開会行事	移 動	公開授業	移 動	第1分科会 数学科 第2分科会 国語科 第3分科会 個人研究発表	アンケート 回 収

【シンポジウム対象授業】 13:40～14:30

分 科 会	科 目 名	実施学年	授 業 者
第1分科会 数 学 科	数学B	2年	五味雅貴
第2分科会 国 語 科	論理国語	2年	岩崎知博

【分 科 会】 14:50～16:30

分 科 会	共 同 研 究 者	問 題 提 起 者	テーマ
第1分科会 数 学 科	愛知教育大学数学教育講座 助教 石川雅章	小林大輔 五味雅貴 滝川彩季 西 師利 渡邊裕介	統合的モデル化アプローチに基づく 統計的推論を促す授業実践
第2分科会 国 語 科	愛知教育大学国語教育講座 准教授 砂川誠司	稲野 恵 岩崎知博 太田卓弥 川瀬英幹 戸田康代	探究力を育む論理国語の授業 ―筆者の問題意識をとらえ、 質問する活動を通して―
第3分科会 個人研究発表		青山昌平(探究推進部)	探究力の育成を目指した 学習カリキュラムの構築

【公開授業一覧】

学年	組	実施教室	教科	科目	備考欄
1年	1	1-1 教室	理科	科学と人間生活	
	2	1-2 教室	公民	公共	
	3	1-3 教室	英語	英語コミュニケーションⅠ	
	4	1-4 教室	地理歴史	歴史総合	
2年	1	2-1 教室	数学	数学B	シンポジウム対象授業
	2	スタジオ	英語	論理表現Ⅱ	
	3	2-3 教室	理科	化学基礎	
	4	2-4 教室	国語	論理国語	シンポジウム対象授業

※実施教室については参観人数により変更になる場合があります。

【シンポジウム分科会会場】

分科会	科目名	授業者	司会者	分科会会場
第1分科会 数学科	数学B	五味雅貴	愛知県立岡崎北高等学校 教諭 神谷良明	実習生室
第2分科会 国語科	論理国語	岩崎知博	愛知教育大学附属高等学校 教諭 川瀬英幹	社会科教室
第3分科会 個人研究発表			愛知教育大学附属高等学校 教諭 小嶋 功	会議室

第1分科会 数学科

統合的モデル化アプローチに基づく統計的推論を促す授業実践

現代社会では、データに基づいて考える力がますます求められており、学校教育における統計学習の重要性も高まっている。その中で重要となるのが、実際のデータを観察して傾向を見いだす探索的データ解析 (Exploratory Data Analysis: EDA) によるアプローチと、その結論が偶然によるものではないかをシミュレーションや確率モデルで確かめる確率的アプローチ (Probabilistic Approach: PA) である。これらを往還的に結びつける枠組みが統合的モデル化アプローチ (Integrated Modeling Approach: IMA) であり、国際的にも注目されている。

一方、実際の授業では、データを見て「こうなりそう」と結論づける探索的活動にとどまり、確率的な検証まで進まないことが多い。そのため、高等学校数学科において IMA の視点に立った授業は、まだ十分に提案されていない。そこで本研究では、探索的にデータを解析するだけでなく、そこから導かれた仮説を確率的に検証することを意図した授業を提案する。本研究は、高等学校数学科において統計的推論を促す授業デザインの一つの方向性を示すものである。

第2分科会 国語科

探究力を育む論理国語の授業

—筆者の問題意識をとらえ、質問する活動を通して—

今年度より本校の高校教育シンポジウムの研究主題は「人生を切り拓く探究力—各教科の取り組みについて—」となり、総合的な探究の時間での「附高ゼミ」を中核として、各教科でもますます探究力に資する能力の育成を目指していくこととなった。

国語科として取り組みたい課題は、二つある。一つは論理的文章の読解力の育成である。探究活動において、情報収集の方法としての文献調査や先行研究の参照が不足しがちである。これは論理的文章の読解に対する生徒の苦手意識も一因であろう。国語科では昨年度「現代の国語」において「論理的読解のパターン化」の研究を行ったが、「論理国語」でも継続していく。今年度は、全体構造の把握ののち、筆者の問いと答え、そして根拠を抽出し、わかりやすく再構成して図解化する活動にも取り組んでいく予定である。もう一つは、批判的思考力の育成である。探究活動において、生徒は収集した情報に対する批判力に乏しい。また、成果発表会での質疑応答の質も課題である。そこで、「論理国語」において、筆者に対する質問を考える活動に取り組むたい。本文の読解時に作成した構造図を活用し、探究活動で使用するテキストも参照しつつ、よりよい質問とは何か考えを深めさせていく。最終的には、筆者の主張に対する自身の考え（批判）を持つことを目標として、授業を展開していきたい。

第3分科会 個人研究発表

探究力の育成を目指した学習カリキュラムの構築 (探究推進部 青山昌平)

本校では令和3年度から「探究力の育成」を目指して総合的な探究の時間の学習カリキュラムを作成してきた。このカリキュラムの中心を担うのが2年生の5月から3年生の10月まで取り組む「附高ゼミ」である。「附高ゼミ」では、生徒が自分の興味・関心に基づいて8つのゼミに分かれて、個人で探究活動に取り組む。この「附高ゼミ」は令和4年度から開始し、カリキュラムの修正を加えながら本校の探究活動の柱として定着してきた。しかし、まだ課題も多く残されている。それぞれのゼミを1人の教員が担当し、生徒の指導に当たっているため、探究活動の指導・支援方法に対する不安を教員が抱えてしまうことがある。この不安解消を目指して、ワークシートや生徒の進捗状況確認ツールの開発、研修の実施など取り組んできた。こうした中で今年の2年生では、教員の不安解消と生徒の探究力育成のrために、探究活動に必要な知識・技能に関する練習問題を取り入れた学習カリキュラムと Google スライドを活用した「附高ゼミポートフォリオ」の開発を試みている。本シンポジウムではこれらの内容と運用の様子などを報告し、探究活動のカリキュラムや支援体制について議論を進めていきたい。

【本校へのアクセス】

- (1) 名鉄名古屋本線知立駅から名鉄バス(①番のりば)
愛知教育大前行き, 日進駅行き, 又はイオン三好店アイモール前行きにて 20 分
「愛知教育大前」下車徒歩 10 分
- (2) 名鉄豊田線日進駅から名鉄バス知立行きにて 25 分
「愛知教育大前」下車徒歩 10 分
- (3) JR東海道本線刈谷駅から名鉄バス愛知教育大前行きにて 35 分
(本数が少ないので, 時刻表でご確認願います。)
「愛知教育大前」下車徒歩 10 分



【その他】

- (1) 申し込み後, 変更が生じた場合には, メールで担当へお知らせください。
- (2) お車でお越しの際は, 大学南門横の大学構内駐車場(P11)をご利用ください。駐車時には入構許可証をダッシュボードの外から見えやすいところに掲示してください。なお, 入構許可証をお持ちでない場合には受付にてお申し出ください。
- (3) 緊急の連絡等がある場合につきましては, 速やかに申しいただきました連絡先にメールさせていただくと共に, 本校ホームページでもお知らせいたします。ご容赦ください。

お申し込みはこちらのQRコードから



<https://forms.gle/MXqzwn8YEmSeAsKv8>

申込締め切り
10月31日(金)

担 当 研究主任 (小嶋)

Tel (0566) 36 - 1881 / FAX (0566) 36 - 1883

メール admin-hs@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

本校 HP <http://www.auehs.aichi-edu.ac.jp>